

外耳炎に関する因子と治療について

主 因

Primary causes

- アトピー性皮膚炎、食事アレルギーなどの過敏症
- ミミダニやノミ、マダニなどの寄生虫
- 植物の種やノギ※などの異物
※イネ科の植物の小穂のトゲ
- 甲状腺機能低下症などの内分泌疾患

アレルギー用のフード



アトピーの治療



異物や寄生虫の除去



二次的な原因

Secondary causes

- 細菌、マラセチアの増殖、感染
- 不適切な洗浄

永続因子

Perpetuating factors

- 耳道の構造変化
(浮腫、狭窄、過形成、石灰化など)
- 鼓膜の異常
- 中耳の異常

素因

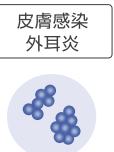
predisposing factors

- 耳の形態
(垂れ耳、過剰な被毛、狭い耳道など)
- 高温多湿
- ポリープ／腫瘍など
- 全身性疾患

ブドウ球菌

Staphylococcus pseudintermedius

グラム陽性球菌
(0.8~1.0μm)
ブドウの房状の
集塊を作る



皮膚感染
外耳炎

緑膿菌

Pseudomonas aeruginosa

グラム陰性桿菌
(0.7~2.0μm)

尿路感染
呼吸器感染
皮膚感染
外耳炎



皮膚感染
外耳炎

マラセチア属真菌

Malassezia pachydermatis

酵母菌
(2~8×2~12μm)
ブドウの房状の
集塊を作る



皮膚感染
外耳炎

薬剤による
治療



一度外耳炎が治っても
再発しやすい因子を持った子や
耳の形状が外耳炎になりやすい子は
定期的な診察が重要です！

犬用外耳炎治療剤 劇薬 指定医薬品

オスルニア®

犬猫の外耳炎由来菌におけるアンチバイオグラム（調査期間：2021年1月～12月）

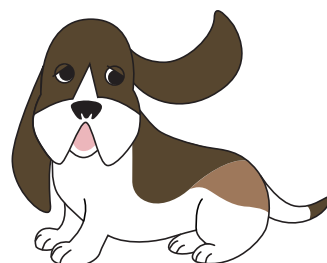
順位	菌名	グラム染色・形状	菌株数	検出率	アモキシシリン	アモキシシリン/ クラバン酸	セファレキシ	セフトラゾール	セフトロキム	オルビ フロキサシ	ゲンタ マイシ	エリスロ マイシ	ミノサイクリ	ドキシ サイクリ	スルファメ キサゾール/ トリメトプリム	ホスホマイシ	イミペネム	クロラム フェニコール
					β-ラクタム系	アモキシシリン/ β-ラクタマーゼ 阻害薬	セフェム系 （第一世代）	セフェム系 （第二世代）	セフェム系 （第三世代）	キノロン系	アミノ グリコシド系	マクロ ライド系	テトラ サイクリン系	テトラ サイクリン系	ST 合剤	（－）	カルバ ペネム系	クロラム フェニコール系
1	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> （緑膿菌）	陰性桿菌 	226	22.0%	0%*	0%	0%	0%	0%	75.0%	63.7%	0%	0%	0%	0%	8.0%	91.6%	0%
2	<i>Malassezia</i> sp. （マラセチア真菌）	真菌 	203	19.8%	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT	NT
3	<i>Staphylococcus schleiferi</i> （ブドウ球菌：メチシリン感受性）	陽性球菌 	172	16.7%	84.9%	100%	100%	100%	100%	36.0%	91.9%	98.3%	100%	100%	98.3%	92.4%	100%	98.8%
4	Group G <i>Streptococcus</i> （連鎖球菌）	陽性球菌 	153	14.9%	100%	100%	100%	100%	100%	53.6%	0%	69.3%	51.6%	54.2%	100%	86.9%	100%	98.0%
5	<i>Staphylococcus pseudintermedius</i> （ブドウ球菌：メチシリン感受性）	陽性球菌 	138	13.4%	15.9%	100%	100%	100%	100%	62.3%	58.7%	47.8%	100%	100%	55.8%	89.1%	100%	47.1%
6	<i>Staphylococcus pseudintermedius</i> （ブドウ球菌：メチシリン耐性）	陽性球菌 	118	11.5%	0%	0%	0%	0%	0%	5.1%	5.9%	9.3%	79.7%	78.8%	29.7%	81.4%	0%	16.1%
7	<i>Proteus mirabilis</i>	陰性桿菌 	117	11.4%	80.3%	96.6%	97.4%	100%	100%	96.6%	95.7%	0%	0%	0%	76.9%	46.2%	100%	67.5%
8	<i>Enterococcus faecalis</i> （腸球菌）	陽性球菌 	94	9.2%	100%	100%	0%	0%	0%	91.5%	0%	27.7%	37.2%	41.5%	0%	72.3%	100%	77.7%
9	<i>Staphylococcus schleiferi</i> （ブドウ球菌：メチシリン耐性）	陽性球菌 	70	6.8%	0%	0%	0%	0%	0%	22.9%	57.1%	91.4%	97.1%	100%	98.6%	84.3%	0%	94.3%
10	<i>Escherichia coli</i> （大腸菌）	陰性桿菌 	68	6.6%	73.5%	85.3%	86.8%	94.1%	92.6%	75.0%	91.2%	0%	98.5%	100%	91.2%	100%	100%	88.2%

*：数値は感受性株分離頻度

注1：二次診療動物病院から送られた検体は除いて集計した。

注2：*Corynebacterium* sp. は、疾病との関連が明確でなかったため除いて集計した。

（提供：株式会社サンリツセルコバ検査センター 露木勇三）



（動物用医薬品）（要指示）（指定医薬品）

犬・猫用フルオロキノロン外耳炎・皮膚感染症治療剤

犬用外耳炎治療剤

（劇薬）（指定医薬品）

ビクタス[®]SMTクリーム

オスルニア[®]

感受性率 75%以上（高感受性菌）

感受性率 25%未満（低感受性菌または自然耐性菌）